

## <大平地域>

### ■田植え地蔵<sup>じそう</sup>

昔、ある百<sup>ひゃくしやう</sup>姓<sup>しやうや</sup>が庄屋に「あそこの田植えを今日中に終わらせろ。」と命じられた。とても1日で終わるような仕事ではなかったが、見知らぬ子供が近づき手伝ってくれた。その田植えの速いこと。見る見るうちに終わってしまった。礼を言う間もなく子供は帰って行き、お堂の中に入った。後を付けていった百<sup>ひゃくしやう</sup>姓<sup>しやうや</sup>がお堂の中を見ると、地蔵<sup>じそう</sup>の足が泥<sup>どろ</sup>で汚れていた。そこで、この話を聞いた村人は、この地蔵<sup>じそう</sup>を田植え地蔵<sup>じそう</sup>と呼ぶようになった。